



第616号

発行人●豊丘村公民館 唐澤克己
編集人●長野県下伊那郡 豊丘村公民館
編集委員会 0265-35-9066
印刷所●龍共印刷株式会社

私たちの村
(6月1日現在)
3,400人
3,522人
6,922人
総世帯数
2,023戸

公民館学習会に155名が登録



五月十六日に第一回公民館学習会が行われました。オリエンテーションに続いて、貝原豪先生の「育児と介護と子育てのはなし」の講演をお聞きしました。

生まれた時から老いる迄の、人間としての基本的な生き方を教えて頂きました。育児とは丈夫な体を作り、心を育てる智育。子供の心

は環境で育ち、環境とは「家庭」と「学校」である事。父母の外に祖父母や兄弟がいる家庭の中で、思いやりの心が育つ。集団生活の中で心が育つ。人間らしい相手の事を思える思いやり、それが介護の心である。子供は大事にされれば親と子の信頼が生まれる。親で「挨拶」「ありがとうございます」は必ず守らせる事。「愛される愛」と「愛する愛」から心は生まれる。言葉の大切さの所で、「大切に思う心」は「愛する心」。言葉によって人の心は成長する。肌と言葉のスキル

生き方の
基本を学ぶ

北市場一 河野美春

五月十六日、開講式とオリエンテーションに続き、慈恵園長の貝原豪先生の講演が行われ、今年度の公民館学習会がスタートしました。百五十五名が受講登録し、今年度も相変わらずの盛況です。受講者は、バラエティに富む年間十回の講座に参加し、自身の技量のレベルアップと日常生活の活性化に取り組みます。貝原先生は、「育児と介護と子育てのはなし」と題して講演され、「すべての人間関係の基本は相手に対する思いやりであり、その思いやりこそが人が生きていくことをかけがいのないものにする」と論されました。

は環境で育ち、環境とは

「家庭」と「学校」である事。父母の外に祖父母や兄弟がいる家庭の中で、思いやりの心が育つ。人間らしい相手の事を思える思いやり、それが介護の心である。子

供は大事にされれば親と子の信頼が生まれる。親で「挨拶」「ありがとうございます」は必ず守らせる事。「愛される愛」と「愛する愛」から心は生まれる。言葉の大切さの所で、「大切に思う心」は「愛する心」。言葉によって人の心は成長する。肌と言葉のスキル

5月16日、第1回公民館学習会

今年も感動でスタート

真心は
必ず通じる
笈 毛涯俊子

読書の習慣のない自分に

は、公民館の学習会は最適である。多忙な時でも、出席すれば必ず、何か

は、勉強して帰れる。

本年度学習会第一回目の慈恵園長貝原先生の「育児と介護と子育てのはなし」は身にしみた。

「子供の心を大切にしよう」

今まで河野に来たときは、おいしいものを満腹食べさせ、そのままを許し、帰りには無理してでも小遣いを持たせた。三人の喜ぶ顔を見るのが、ひい婆としての楽しみであった。

これからは、先生のお話のよう、「基本的生活習慣（生命の安全やきまり）と礼仪」を考えたコミュニケーションに改めなければならぬ。真心で接すれば必ず

一方的ではなく、双方による「心」の交流を意味し、サービス業だけではなく病院や官庁、介護の現場でも接遇スキルが求められています。



心の温かさが伝わる貝原先生のお話

今は子育てに社会が協力してくれ、学校の教育の場でも親は安心して外で働く良い時代です。

今老いの道を歩む私も、少しでも先生の言われる「脳の學習にふれさせて頂こうと、公民館学習会に参加させて頂きたいと思いま

す。一年間の素晴らしい計画

が決めるのではなく、相手が決めるものであり、自己満足せず、相手の立場に立ち、相手の気持ちを察することが必要とされます。だからこそ「挨拶、表情、身だしなみ、態度、言葉遣い」が重要になります。

まず、接遇に大切なのは挨拶と笑顔だと研修で学びました。挨拶によって自分の心を開かなければ、相手も心を開いてくれません。また、笑顔で接しているかは、相手も笑顔になってくれると思います。また、職業にかかわらず、家庭でも接遇を心掛ければ家族が円満になっていくのではない

トタイマーで家を留守にしている三人の曾孫（男子、四歳、七歳、十歳）の元気な子供たちの姿が目に浮かんできた。母親は忙しくて無計画な仕付けになつてゐるのではないか、気になつた。

四月に、「接遇研修」を受けました。接遇の意味を調べると、「接客業務時における客に対する接客スキル」のことをいうそうです。接遇の「遇」には「もてなしの意味があり、相手に対する思いやり、いたわりの気持ちを持つて接することを明確にした言葉といえます。人と人がもてなし合うこと、一方的ではなく、双方による「心」の交流を意味し、サービス業だけではなく病院や官庁、介護の現場でも接遇



～シリーズ～
No.104 豊丘の自然

ヨツボシトンボ(トンボ科)



今月はヨツボシトンボで
考えてみたい。このトンボ、
今から三十一年前の昭和五
十六年発行の「生田村誌」
には、喬木村のみの生息で
ある。しかも、現在の豊丘
村が河野村と神稻村だった
ことだから、四十三市町村
中の喬木村である(1/43:
2・33%)。

ところが現在、いや、今年
だけでも、十九市町村中豊丘

大好きなことは、故・伊
藤文男先生が残されたよ
うに、「今を記録する」こ
とだと思う。(山田拓)

少年野球豊丘大会六年生
の部は、五月二十日に村民
グランドで行われました。豊
丘少年野球クラブはAプロッ
クの決勝まで進み、座光寺
チームと戦った結果、同点
となり、ジャンケン決着で
惜しくも準優勝になりました。
しかし、その頑張りは
実際に見事でした。

次は優勝を

南小六年
杉山 城

五月二十日に、少年野球
豊丘大会がありました。ぼ
くはキヤブテンなので選手
宣誓をしました。少しきん
ちょうしましたが、間違え
ずに言えてほつとしました。
開会式が終わり、すぐに上
片桐戦に入りました。最近
の練習試合でなかなか勝て
なかつたので、第一試合は
不安でした。でもみんなの

活やくで
ホームラン
も出てピッ
チャーのが
んぱりで勝
つことが出
来、二回戦
に進む事が
出来まし
た。二回戦
は大差で勝
ち、いよい
よ決勝戦で
す。決勝は
座光寺でし
た。一回ウ
ラに一点入れられてしまつ
たけど、二回表に豊丘も点
を入れました。その後もお
互いに点が入り、四対四の
同点になりました。試合は
ひかえています。もっともつ
と練習をして強くなり、次
は優勝したいです。今のチ
ームは六年生が三人で五年生
十人のチームです。みんな
野球が大好きでいい仲間で
す。この最高のメンバーで
最後の試合まで全員野球で
がんばりたいので応援よろ
しくおねがいします。

春爛漫外へ押し出す車椅子
外壁を乗り越え走る魔の車
涙のむ一字違ひの外れクジ
外来の待合室は顔なじみ
涙のむ一字違ひの外れクジ
座光寺でし
た。二回戦
は大差で勝
ち、いよい
よ決勝戦で
す。決勝は
座光寺でし
た。一回ウ
ラに一点入れられてしまつ
たけど、二回表に豊丘も点
を入れました。その後もお
互いに点が入り、四対四の
同点になりました。試合は
ひかえています。もっともつ
と練習をして強くなり、次
は優勝したいです。今のチ
ームは六年生が三人で五年生
十人のチームです。みんな
野球が大好きでいい仲間で
す。この最高のメンバーで
最後の試合まで全員野球で
がんばりたいので応援よろ
しくおねがいします。



好球必打で、回を追うごとに強くなり

チーム一丸で準優勝

少年野球で豊丘チーム健闘



豊丘中チーム、迫力のプレー

それぞれにベストを尽くして

豊丘中の中体連飯伊大会結果

野球	Tトーナメント
南信大会出場	予選R敗退
男子バスケットボール	予選R敗退
女子バレー	リーグ
女子バレー	リーグ
男子ソフトテニス(団体)	予選R敗退
女子ソフトテニス(団体)	決勝T進出
男子ソフトテニス(個人)	決勝T進出
女子ソフトテニス(個人)	決勝T進出
南信大会出場	決勝T進出
中山・松村ペア	決勝T進出
加藤・矢澤ペア	決勝T進出
陸上(南信大会)	決勝T進出
共通200m	西元由希音
菅沼 真咲	西元由希音
遠山 葉	西元由希音
剣道(団体)	柔道(個人)
南信大会出場	柔道(個人)
市沢 佑太	西元由希音
遠山 葉	西元由希音
富内 海里	西元由希音
剣道(団体)	柔道(個人)
南信大会出場	柔道(個人)
中島 一彦	西元由希音
毛庭百合子	西元由希音
萌え出づる若草の庭にかがみたる融け合うように心安らぐ	西元由希音

豊丘川柳クラブ豊柳会

▼課題「感」互選

ありがとうございました。市沢照子
年金に感謝寿命が生きのびる 安田喜子
感謝され逆に楽しむボランティア 宮島昭三

さくらさくらお七来そな寺灯り
子燕に空は無限の翼張り

師でもり叔母でもり沙羅の花

外見に引かれ結ばれ負つたツケ 桃沢健介

春爛漫外へ押し出す車椅子 今村礼風

外壁を乗り越え走る魔の車 泉久子

涙のむ一字違ひの外れクジ 林桃子

絵の如し桜列ぬる阿智の里 田中保子

涙のむ一字違ひの外れクジ 三島里子

絶妙や金星近し春の月 水野里子

花一輪アルプス望む役場跡 木下眞水

休耕田蝌蚪の卵のとぐろ巻く 和地睦夫

立山の雪の高さは七十尺 水野近義

山染めて桃紅白の五千本

柿若葉に満たされており父母の墓

絵の如し桜列ぬる阿智の里 中山寿子

ホームラン 北原昭子

ホームラン 北原昭子

ホームラン 北原昭子

ホームラン 北原昭子

ホームラン 北原昭子



短歌

萌え出づる若草の庭にかがみたる融け合うように心安らぐ
鴨の群れ餌場探し移動せり思い出残る川は自然に
改札を抜け若きらに追いかかる昔はわれも歩きつ振り良しが
山深く木のこすれあう音聞けば獸の声にも鳥の声にも
好奇心のすこし萎えしと菖蒲湯に長く浸かりぬ明日八十二歳
招れて久々に会う佳き宴杖にたよりて祝杯交わす
学生をみな吸い込みて電車発ち峠の駅舎はみどりが包む
河原 梨花
織田 大原

八日会

雲間よりこぼれる夕陽に向う鳥黒く群なし追いつ追われつ

招れて久々に会う佳き宴杖にたよりて祝杯交わす

松島 八重

梅

大切なことは、故・伊藤文男先生が残されたよ

うに、「今を記録する」ことだと思つ。(山田拓)

学生をみな吸い込みて電車発ち峠の駅舎はみどりが包む

河原 梨花